

年頭のご挨拶

日本アイ・ビー・エム健康保険組合

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、日頃より当健保組合の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、長らく続いた新型コロナウイルス感染症のパンデミックが収束に向かい、経済・社会活動の正常化が進みました。明るい兆しが見える一方、健保組合を取り巻く環境は、団塊の世代が75歳以上となり後期高齢者へ移行し始めたことに伴う後期高齢者支援金の増加に加え、新型コロナウイルス感染症等の影響により医療費の増加傾向が強まるなど、ますます厳しい局面を迎えています。

こうした状況のなか政府は、今後も続く超高齢化や人口減少社会を見据え、出産育児一時金の一部を後期高齢者医療制度が支援する仕組みの導入や、後期高齢者の保険料負担の見直しを含む健保法等の一部改正を行いました。現役世代の負担軽減効果は十分とは言えないものの、世代間の負担格差の縮小、負担能力に応じた公平な負担という観点では一歩前進したものと考えています。一方、前期高齢者納付金については、被用者保険者間の格差是正の観点から一部に報酬水準に応じた調整が導入されますが、現役世代の負担軽減という改革の趣旨を踏まえれば、これ以上の報酬調整の拡大は認められません。持続可能な制度の構築に向け、さらに実効ある改革の実現が望まれるところです。

4月からは第3期データヘルス計画、第4期特定健診・特定保健指導が始まります。特定健診においては質問票の項目がより詳細に把握できる内容に見直されます。また、特定保健指導では新たな評価指標が導入され、より成果を重視するようになるなど、保健事業に関わる見直しが実施されます。当健保組合といたしましても、これまで以上に効率的・効率的な事業展開を目指し、組合運営を行ってまいりたいと考えます。みなさまにおかれましても、被扶養者の方も含め、特定健診や特定保健指導などを積極的に受けていただき、健康管理にご留意くださいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、みなさまのますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。